

科目名			担当者	
建築計画			佐藤 睦子	非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・I期	講義	84時間	必修 5.5単位	無

授業の目的と到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・二級建築士の学科試験において、「学科 I 建築計画」の合格点達成に必要な実力を身につける。 ・苦手な単元を発見し克服できる。(基本問題を 80%以上正解できる。) ・二級建築士の学科試験において 25 点満点中 17 点以上得点できる。 																																										
授業の概要 達成課題	<ul style="list-style-type: none"> ・単元毎の問題解説を行う。これによって建築士試験合格に必要な基本知識を得ることができる。 ・建築士試験過去問題の分析により出題傾向を明らかにし、解答方法を具体的に説明する。 ・単元毎に小テストを行い、習得度を確認する。これによって苦手分野を発見することができる。 																																										
【各回のテーマ・内容・授業方法】 1 週間の中で 2 回授業を実施する。 <table border="0"> <tr> <td>第 1 週</td> <td>気象・室内環境／小テスト</td> <td>建築設備概要説明／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 2 週</td> <td>換気・通風／小テスト</td> <td>空気調和設備①／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 3 週</td> <td>伝熱・結露／小テスト</td> <td>空気調和設備②／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 4 週</td> <td>日照・日射・採光／小テスト</td> <td>暖房設備／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 5 週</td> <td>音響・色彩／小テスト</td> <td>給水、給湯、排水設備／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 6 週</td> <td>建築史／小テスト</td> <td>衛生設備／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 7 週</td> <td>用語・単位／小テスト</td> <td>電気・照明設備／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 8 週</td> <td>独立住宅・集合住宅／小テスト</td> <td>消火設備／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 9 週</td> <td>商業建築・公共建築／小テスト</td> <td>空気調和設備③ (省エネルギー) /小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 10 週</td> <td>計画一般／小テスト</td> <td>設備計画まとめ／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 11 週</td> <td>計画原論・計画各論まとめ／小テスト</td> <td>建築計画①／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 12 週</td> <td>建築計画②／小テスト</td> <td>建築計画③／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 13 週</td> <td>建築計画④／小テスト</td> <td>建築計画⑤／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第 14 週</td> <td>建築計画⑥／小テスト</td> <td>建築計画⑦／小テスト</td> </tr> </table>		第 1 週	気象・室内環境／小テスト	建築設備概要説明／小テスト	第 2 週	換気・通風／小テスト	空気調和設備①／小テスト	第 3 週	伝熱・結露／小テスト	空気調和設備②／小テスト	第 4 週	日照・日射・採光／小テスト	暖房設備／小テスト	第 5 週	音響・色彩／小テスト	給水、給湯、排水設備／小テスト	第 6 週	建築史／小テスト	衛生設備／小テスト	第 7 週	用語・単位／小テスト	電気・照明設備／小テスト	第 8 週	独立住宅・集合住宅／小テスト	消火設備／小テスト	第 9 週	商業建築・公共建築／小テスト	空気調和設備③ (省エネルギー) /小テスト	第 10 週	計画一般／小テスト	設備計画まとめ／小テスト	第 11 週	計画原論・計画各論まとめ／小テスト	建築計画①／小テスト	第 12 週	建築計画②／小テスト	建築計画③／小テスト	第 13 週	建築計画④／小テスト	建築計画⑤／小テスト	第 14 週	建築計画⑥／小テスト	建築計画⑦／小テスト
第 1 週	気象・室内環境／小テスト	建築設備概要説明／小テスト																																									
第 2 週	換気・通風／小テスト	空気調和設備①／小テスト																																									
第 3 週	伝熱・結露／小テスト	空気調和設備②／小テスト																																									
第 4 週	日照・日射・採光／小テスト	暖房設備／小テスト																																									
第 5 週	音響・色彩／小テスト	給水、給湯、排水設備／小テスト																																									
第 6 週	建築史／小テスト	衛生設備／小テスト																																									
第 7 週	用語・単位／小テスト	電気・照明設備／小テスト																																									
第 8 週	独立住宅・集合住宅／小テスト	消火設備／小テスト																																									
第 9 週	商業建築・公共建築／小テスト	空気調和設備③ (省エネルギー) /小テスト																																									
第 10 週	計画一般／小テスト	設備計画まとめ／小テスト																																									
第 11 週	計画原論・計画各論まとめ／小テスト	建築計画①／小テスト																																									
第 12 週	建築計画②／小テスト	建築計画③／小テスト																																									
第 13 週	建築計画④／小テスト	建築計画⑤／小テスト																																									
第 14 週	建築計画⑥／小テスト	建築計画⑦／小テスト																																									
成績評価方法	・各小テストで評価する																																										
教科書	『2020年度受験2級建築士講座テキスト I 建築計画』／総合資格学院																																										
参考書																																											
備考																																											

科目名			担当者	
建築法規			東山 圭	非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・I期	講義	98時間	必修 6.5単位	無

授業の目的と到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・二級建築士の学科試験において、「学科Ⅱ建築法規」の合格点達成に必要な実力を身につける。 ・苦手な単元を発見し克服できる。(基本問題を80%以上正解できる。) ・二級建築士の学科試験において25点満点中17点以上得点できる。 																																										
授業の概要達成課題	<ul style="list-style-type: none"> ・単元毎の問題解説を行う。これによって建築士試験合格に必要な基本知識を得ることができる。 ・建築士試験過去問題の分析により出題傾向を明らかにし、解答方法を具体的に説明する。 ・単元毎に小テストを行い、習得度を確認する。これによって苦手分野を発見することができる。 																																										
【各回のテーマ・内容・授業方法】 1週間の中で2回授業を実施する。 <table border="0"> <tr> <td>第1週</td> <td>出題傾向、法の概要／小テスト</td> <td>用語の定義／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第2週</td> <td>面積、高さの算定／小テスト</td> <td>建築基準法の手続き等／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第3週</td> <td>一般構造規定①／小テスト</td> <td>一般構造規定②／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第4週</td> <td>防火規制／小テスト</td> <td>防火地域、準防火地域／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第5週</td> <td>避難施設等／小テスト</td> <td>内装制限／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第6週</td> <td>構造計算、構造強度①／小テスト</td> <td>構造計算、構造強度②／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第7週</td> <td>敷地と道路／小テスト</td> <td>用途地域／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第8週</td> <td>建ぺい率・容積率／小テスト</td> <td>高さ制限、日影規制／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第9週</td> <td>雑則、建築基準法その他の規定／小テスト</td> <td>建築基準法まとめ</td> </tr> <tr> <td>第10週</td> <td>建築士法／小テスト</td> <td>高齢者障害者移動等円滑化促進法、他／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第11週</td> <td>都市計画法、住宅の品確方／小テスト</td> <td>建築基準法以外の規定まとめ</td> </tr> <tr> <td>第12週</td> <td>建築法規①／小テスト</td> <td>建築法規②／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第13週</td> <td>建築法規③／小テスト</td> <td>建築法規④／小テスト</td> </tr> <tr> <td>第14週</td> <td>建築法規⑤／小テスト</td> <td>建築法規⑥／小テスト</td> </tr> </table>		第1週	出題傾向、法の概要／小テスト	用語の定義／小テスト	第2週	面積、高さの算定／小テスト	建築基準法の手続き等／小テスト	第3週	一般構造規定①／小テスト	一般構造規定②／小テスト	第4週	防火規制／小テスト	防火地域、準防火地域／小テスト	第5週	避難施設等／小テスト	内装制限／小テスト	第6週	構造計算、構造強度①／小テスト	構造計算、構造強度②／小テスト	第7週	敷地と道路／小テスト	用途地域／小テスト	第8週	建ぺい率・容積率／小テスト	高さ制限、日影規制／小テスト	第9週	雑則、建築基準法その他の規定／小テスト	建築基準法まとめ	第10週	建築士法／小テスト	高齢者障害者移動等円滑化促進法、他／小テスト	第11週	都市計画法、住宅の品確方／小テスト	建築基準法以外の規定まとめ	第12週	建築法規①／小テスト	建築法規②／小テスト	第13週	建築法規③／小テスト	建築法規④／小テスト	第14週	建築法規⑤／小テスト	建築法規⑥／小テスト
第1週	出題傾向、法の概要／小テスト	用語の定義／小テスト																																									
第2週	面積、高さの算定／小テスト	建築基準法の手続き等／小テスト																																									
第3週	一般構造規定①／小テスト	一般構造規定②／小テスト																																									
第4週	防火規制／小テスト	防火地域、準防火地域／小テスト																																									
第5週	避難施設等／小テスト	内装制限／小テスト																																									
第6週	構造計算、構造強度①／小テスト	構造計算、構造強度②／小テスト																																									
第7週	敷地と道路／小テスト	用途地域／小テスト																																									
第8週	建ぺい率・容積率／小テスト	高さ制限、日影規制／小テスト																																									
第9週	雑則、建築基準法その他の規定／小テスト	建築基準法まとめ																																									
第10週	建築士法／小テスト	高齢者障害者移動等円滑化促進法、他／小テスト																																									
第11週	都市計画法、住宅の品確方／小テスト	建築基準法以外の規定まとめ																																									
第12週	建築法規①／小テスト	建築法規②／小テスト																																									
第13週	建築法規③／小テスト	建築法規④／小テスト																																									
第14週	建築法規⑤／小テスト	建築法規⑥／小テスト																																									
成績評価方法	・小テストで評価する																																										
教科書	『2020年度受験2級建築士講座テキストⅡ 建築法規』／総合資格学院 『2020年度版建築関係法令集(法令編)』／総合資格学院																																										
参考書	解説や練習問題のプリントを配布する。																																										
備考	欠席した際は、次回授業までに担当教員からプリント等を受け取り、放課後等を利用して学習し、小テストの解答を提出すること。																																										

科目名			担当者	
建築構造			千葉 託巳	非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・I期	講義	112時間	必修 7単位	無

授業の目的と到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・二級建築士の学科試験において、「学科Ⅲ建築構造」の合格点達成に必要な実力を身につける。 ・苦手な単元を発見し克服できる。(基本問題を80%以上正解できる。) ・二級建築士の学科試験において25点満点中17点以上得点できる。
授業の概要 達成課題	<ul style="list-style-type: none"> ・単元毎の問題解説を行う。これによって建築士試験合格に必要な基本知識を得ることができる。 ・建築士試験過去問題の分析により出題傾向を明らかにし、解答方法を具体的に説明する。 ・単元毎に小テストを行い、習得度を確認する。これによって苦手分野を発見することができる。
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
1週間の中で2回授業を実施する。	
第1週	ガイダンス、力の釣合い／小テスト 一般構造概要説明／過去問題演習
第2週	反力／小テスト 荷重、外力、地盤、基礎、構造設計／小テスト
第3週	応力①(梁)／小テスト 木構造①／小テスト
第4週	応力②(ラーメン構造)／小テスト 木構造②／小テスト
第5週	応力度①／小テスト 鉄筋コンクリート造①、補強コンクリートブロック造／小テスト
第6週	応力度②／小テスト 鉄筋コンクリート造②、壁式構造／小テスト
第7週	断面の設計・座屈／小テスト まとめ／過去問題演習、解説
第8週	トラス①／小テスト 鉄骨造①／小テスト
第9週	トラス②／小テスト 鉄骨造②／小テスト
第10週	不静定構造物に生ずる力／小テスト 建築材料／小テスト
第11週	構造力学まとめ①／問題演習 建築構造①／小テスト
第12週	構造力学まとめ②／問題演習 建築構造②／小テスト
第13週	構造力学まとめ③／問題演習 建築構造③／小テスト
第14週	構造力学まとめ④／問題演習 建築構造④／小テスト
成績評価方法	・小テストで評価する
教科書	『2020年度受験2級建築士講座テキストⅢ 建築構造』／総合資格学院
参考書	解説や練習問題のプリントを配布する。
備考	欠席した際は、次回授業までに担当教員からプリント等を受け取り、放課後等を利用して学習し、小テストの解答を提出すること。

科目名			担当者	
建築施工			氏家 真史	非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・I期	講義	98時間	必修 6.5単位	無

授業の目的と到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・二級建築士の学科試験において、「学科IV建築施工」の合格点達成に必要な実力を身につける。 ・苦手な単元を発見し克服できる。(基本問題を80%以上正解できる。) ・二級建築士の学科試験において25点満点中17点以上得点できる。
授業の概要 達成課題	<ul style="list-style-type: none"> ・単元毎の問題解説を行う。これによって建築士試験合格に必要な基本知識を得ることができる。 ・建築士試験過去問題の分析により出題傾向を明らかにし、解答方法を具体的に説明する。 ・単元毎に小テストを行い、習得度を確認する。これによって苦手分野を発見することができる。
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
1週間の中で2回授業を実施する。	
第1週	出題傾向、施工計画／小テスト
第2週	仮設工事、地盤／小テスト
第3週	鉄筋工事／小テスト
第4週	コンクリート工事①／小テスト
第5週	鉄骨工事、組積工事／小テスト
第6週	まとめ①
第7週	左官工事、タイル工事、石工事／小テスト
第8週	断熱工事、内装工事／小テスト
第9週	設備工事／小テスト
第10週	積算／小テスト
第11週	まとめ③
第12週	建築施工②／小テスト
第13週	建築施工④／小テスト
第14週	建築施工⑥／小テスト
	施工管理、工事準備、測量／小テスト 土工事、基礎工事／小テスト 型枠工事／小テスト コンクリート工事②／小テスト 木工事／小テスト 防水工事、屋根工事／小テスト 塗装工事、建具・ガラス工事／小テスト まとめ② 施工機械／小テスト 契約書、仕様書／小テスト 建築施工①／小テスト 建築施工③／小テスト 建築施工⑤／小テスト 建築施工⑦／小テスト
成績評価方法	・小テストで評価する。
教科書	『2020年度受験2級建築士講座テキストIV 建築施工』／総合資格学院
参考書	解説や練習問題のプリントを配布する。
備考	欠席した際は、次回授業までに担当教員からプリント等を受け取り、放課後等を利用して学習し、小テストの解答を提出すること。

科目名			担当者	
建築士講座 I			佐々木 賢志	常 勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1 年次・I 期	演 習	112 時間	必修 3.5 単位	有

授業の目的 と 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二級建築士の学科試験において、合格点達成に必要な実力を身につける。 ・ 苦手な科目・単元を発見し克服する。(基本問題を 80%以上正解できる。 ・ 二級建築士の学科試験において各科目 25 点満点中 17 点以上得点できる。 ※ 建築設計事務所において、建築設計（設計製図）の実務経験ある一級建築士の教員が授業を指導する。
授業の概要 達成課題	二級建築士の学科試験過去問題をベースにした模擬試験を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 成績を個別に分析する。苦手科目を把握し、総合点を伸ばすための学習計画を立てる。これによって効率良い学習方法を見つけることができる。 ・ 試験形式に慣れるために過去問題や類似問題演習を繰り返し実施する。これによって応用力を身につけることもできる。
【各回のテーマ・内容・授業方法】 学科Ⅰ（建築計画）、学科Ⅱ（建築法規） 試験時間：午前 3 時間 学科Ⅲ（建築構造）、学科Ⅳ（建築法規） 試験時間：午後 3 時間 問題形式：マークシート方式 第 1 週 二級建築士学科模擬試験① 第 2 週 二級建築士学科模擬試験② 第 3 週 二級建築士学科模擬試験③ 第 4 週 二級建築士学科模擬試験④ 第 5 週 二級建築士学科模擬試験⑤ 第 6 週 二級建築士学科模擬試験⑥ 第 7 週 二級建築士学科模擬試験⑦ 第 8 週 二級建築士学科模擬試験⑧ 第 9 週 二級建築士学科模擬試験⑨ 第 10 週 二級建築士学科模擬試験⑩ 第 11 週 模擬試験① 第 12 週 模擬試験② 第 13 週 模擬試験③ 第 14 週 模擬試験④	
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬試験結果で評価する
教科書	
参考書	
備考	試験結果は個別成績表として個人に配布する。弱点を分析する重要なデータになるのでファイル等で保管し、学習に役立てること。 欠席の際は、後日問題を受け取ること。その後放課後等を利用して解答し、結果を提出すること。

科目名			担当者	
建築士講座Ⅱ			佐々木 賢志	常 勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・Ⅱ期	演 習	72 時間	必修 2 単位	有

授業の目的 と 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 二級建築士の設計製図試験の合格に必要な実力を身につける。 課題文を的確に読み取ることができる。 設計条件を満たした明確なプランをまとめることができる。 プランを一式図面としてまとめることができる。 見直しを含めて5時間で課題を完了できる。 ※ 建築設計事務所において、建築設計（設計製図）の実務経験ある一級建築士の教員が授業を指導する。
授業の概要 達成 課題	<ul style="list-style-type: none"> 過去問題と当年の建築士設計製図試験課題の練習問題により模擬試験を行う。 試験時間は本試験と同じ5時間とする。 プランならびに製図内容を添削し、可否判定基準に照らし合わせて学習目標の計画を立てる。
【各回のテーマ・内容・授業方法】 試験時間：5時間 第1週 二級建築士設計製図模擬試験① 第2週 二級建築士設計製図模擬試験② 第3週 二級建築士設計製図模擬試験③ 第4週 二級建築士設計製図模擬試験④ 第5週 二級建築士設計製図模擬試験⑤ 第6週 建築士設計製図対策① 第7週 建築士設計製図対策② 第8週 建築士設計製図対策③ 第9週 建築士設計製図対策④	
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 試験結果で評価する ※授業回数の2/3以上出席した学生を評価対象とする。
教科書	解説等のプリントを配布することもある。
参考書	
備考	欠席した際は後日問題と製図用紙を受け取り、放課後等を利用して解答し、図面を提出すること。

科目名			担当者	
設計製図			佐藤 睦子	非常勤
			氏家 真史	非常勤
			東山 圭	非常勤
			千葉 託巳	非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・Ⅱ期	演習	216時間	必修 7単位	無

授業の目的と到達目標	<p>二級建築士の製図試験に合格するために必要な設計力と製図力を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築士設計製図試験課題文を的確に読み取ることができる。 ・ 設計条件を満たした明確なプランをまとめることができる。 ・ プランを一式図面としてまとめることができる。
授業の概要 達成課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題文(設計条件)の読み取りからエスキスの進め方を解説し、過去問題と本試験課題を想定した練習課題を通して具体的なまとめ方を説明する。これによりエスキス力を向上させることができる。設計条件の読み込みから1時間でプランを完成することが課題である。 ・ 製図手順を解説し、製図演習を繰り返しながら、速く正確な図面が描ける方法を説明する。これにより製図力を向上させることができる。プランをもとに一式製図を4時間で完成することが課題である。
<p>【各回のテーマ・内容・授業方法】 1週間の中で4回授業を実施する。</p> <p>回数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設計製図試験の概要(試験制度・特徴、出題傾向、不合格図面について) 2.～4. 製図トレーニング①(平面図の手順、平面図の練習) 5.～6. 製図トレーニング②(立・断面図の手順、立面図の練習) 7.～8. 製図トレーニング③(矩計図の手順、矩計図の練習) 9.～10. 製図トレーニング④(床伏図の手順、床伏図の練習) 11. 製図トレーニング⑤(小屋伏図の手順、小屋伏図の練習) 12. 製図トレーニング⑥(要求図面一式製図練習) 13. エスキス方法解説(課題文の読み取り、エスキスの進め方) 14.～16. エスキス演習①～③ 17.～20. 二級建築士設計製図試験形式演習①～③ 21. 二級建築士設計製図試験総括 22. 木造建築士設計製図試験の概要 23. 製図トレーニング⑦(基礎伏図の手順、基礎伏図の練習) 24.～36. 設計製図演習①～⑫ 	
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ エスキス演習の成果(50%) ・ 一式製図演習の成果(50%) <p>として、評価する。</p>
教科書	
参考書	プリントを配布することもある。
備考	<p>練習課題、製図用紙を配布する。</p> <p>欠席の際は、後日課題等を受け取り、放課後等を利用して作業し、学習の上の成果を提出すること。夏季休業中に製図力養成のための製図課題を課す。(課題内容:要求図面一式製図10枚程度)</p>

科目名			担当者	
建築積算			増田 豊文	非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・Ⅲ期	演習	30時間	必修 1単位	無

授業の目的と到達目標	<p>実際の建築生産の過程において、積算は設計と施工を結ぶ重要な位置にある。積算方法を理解することにより、設計や施工に関する理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 木造戸建て住宅について、各図面を参照しながら主な工事費を具体的に算出できる。主な工事の内容は「土、基礎工事」「躯体工事」「内外装工事」である。 木造戸建住宅について、工事価格構成の基本内容について説明できる。
授業の概要 達成課題	<p>先ず、建築積算の概要と実務における役割、重要性を説明する。一般的に曖昧に捉えられがちな「建物本体価格」について解説する。</p> <p>次に、実際に施工例の多い木造戸建住宅を取り上げ、各種工事の積算方法を説明する。使用材料の数量を算出後、積算資料を用いて金額の算出方法も解説する。工事種別ごとに算出方法が異なるのでその違いを明らかにする。</p>
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
第1週	木造建築積算概要説明
第2週	基礎工事の積算／数量拾い及び計算書作成
第3週	木工事の積算① 軸組み材／数量拾い及び計算書作成
第4週	木工事の積算② 下地材（1）／数量拾い及び計算書作成
第5週	木工事の積算③ 下地材（2）／数量拾い及び計算書作成
第6週	木工事の積算④ 造作材／数量拾い及び計算書作成
第7週	左官工事、タイル工事の積算／数量拾い及び計算書作成
第8週	屋根工事の積算／数量拾い及び計算書作成
第9週	見積書類の作成／金額算出等
第10週	まとめ
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 提出課題で評価する。
教科書	
参考書	プリントを配布する。
備考	電子計算機を使用するので必ず持参すること。

科目名			担当者	
確認申請実務			佐藤 睦子	非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1 年次・Ⅲ期	演 習	60 時間	必修 2 単位	無

授業の目的 と 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の敷地に計画することで、様々な法令を遵守した建物を計画する力を身につける。 ・ 申請用図面製図を通して、各図面における記入必要項目等を理解する。 ・ プランニング、製図、書類作成等の確認申請の一連の作業を演習することで、申請に関わる実務内容を理解する。 			
授業の概要 達成課題	<p>建築工事を行う場合、建築基準法に基づき「建築確認」等の行政手続きが必要となる。「建築確認」申請は建築士の重要な業務となっている。授業では木造戸建住宅を演習課題とし、申請に必要な設計図書ならびに書類の作成方法を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請用図面製図を通して、各図面における記入必要項目等を説明する。 ・ 申請書類作成を通して、壁量計算ならびに換気計算について説明する。 ・ 提出された設計図書一式について採点し、講評することでまとめを行う。 			
【各回のテーマ・内容・授業方法】				
1 週間の中で 2 回授業を実施する。				
第 1 週	ガイダンス (建築確認申請の概要)	プランニング 1 (課題敷地調査)		
第 2 週	プランニング 2 (ライフスタイルの分析)	プランニング 3		
第 3 週	プランニング 4 (法令上の確認)	プランニング 5		
第 4 週	プランニング 6 (プラン完成)	建築確認申請用図面製図 1 (平面図①)		
第 5 週	建築確認申請用図面製図 2 (平面図②)	建築確認申請用図面製図 3 (立面図、断面図)		
第 6 週	建築確認申請用図面製図 4 (仕上げ表)	建築確認申請用図面製図 5 (配置図、案内図)		
第 7 週	建築確認申請用図面製図 6 (求積図)	壁量計算書 1		
第 8 週	壁量計算書 2	換気計算書 (24 時間換気)		
第 9 週	書類作成 1 (建築確認申請書)	書類作成 2 (建築工事届け、工事概要書)		
第 10 週	書類作成 3 (内容確認、製本)	まとめ		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出課題の建築確認申請書等一式書類で評価する。 			
教科書				
参考書	『2020 年度版建築関係法令集 (法令編)』 / 総合資格学院			
備考	<p>解説用のプリント等を配布する。 欠席した際は、次回授業までにプリント等を受け取り、放課後等を利用して学習すること。また、欠席した分の作業は翌授業までに完了すること。</p>			

科目名			担当者	
施工品質管理			大友 彰	非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・Ⅲ期	講義	30時間	必修 2単位	無

授業の目的と到達目標	<p>建築施工の現場で起こり得る施工上のミス等を未然に防ぐための基本的知識を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事ごとに、正しい施工方法を具体的に説明できる。 ・ 工事ごとに、施工管理業務に就いた際に必要な確認事項を説明できる。
授業の概要達成課題	<p>施工管理とは建設工事の施工手段を選定し、施工計画を立て、適切な品質や工期等の目的を果たすために、原価管理・工程管理・品質管理などを行うことである。</p> <p>授業では現場で起こり得る施工ミスなどの原因を検証し、品質を守る建築の造り方、管理の仕方を説明する。教科書をベースに実際に起きた施工トラブル等の具体例を工事ごとに取り上げ、詳しく分析する。これによって施工管理業務に必要な基本的知識を得ることができる。</p>
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
第1週	土地に関する基礎知識
第2週	工事契約／小レポート
第3週	基礎工事／小レポート
第4週	大工工事／小レポート
第5週	建て方／小レポート
第6週	小屋組／小レポート
第7週	建具工事／小レポート
第8週	設備工事／小レポート
第9週	造作工事／小レポート
第10週	まとめ
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小レポートで評価する。 <p>※出席欠席に関わらず、原則として小レポートは全ての分を提出のこと。</p>
教科書	『品質を守る木造住宅のつくり方』／井上書院
参考書	解説のプリントや資料を配布することもある。
備考	欠席した際は、次回授業までに常勤教員からプリント等を受け取り、放課後等を利用して学習すること。また欠席した分の小レポートも提出すること。

科目名			担当者	
施工図演習			氏家 真史	非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・Ⅲ期	演習	30時間	必修 1単位	無

授業の目的と到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工現場で使用する工事方法を示す詳細な図面（施工図）を正確に製図できる。 ・ 施工図の製図を通して、主な工事について施工方法の理解を深める。 ・ 設計監理の方法について概要が説明できる。
授業の概要 達成課題	<p>施工図の製図演習および施工現場での建築士の役割について解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工図とは施工現場で使用する詳細な図面であり、施工段階での役割は大きく、建築物の仕上がりを左右する。施工図の製図方法を説明しながら“納まり”について具体的に解説する。 ・ 施工現場における建築士の役割について、実際に指導教員が担当した実例をもとにプロジェクター等を使用しながら具体的に解説する。
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
第1週	ガイダンス／CM（コンストラクション・マネジメント）概論
第2週	施工図演習①／鉄筋コンクリート造伏図
第3週	施工図演習②／〃
第4週	施工図演習③／鉄筋コンクリート造躯体断面図
第5週	施工図演習④／〃
第6週	施工図演習⑤／木造建具詳細図
第7週	施工図演習⑥／〃
第8週	施工図演習⑦／木造部分詳細図
第9週	施工図演習⑧／〃
第10週	まとめ
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演習課題の成果で評価する。 <p>※出席欠席に関わらず、原則として小レポート及び製図演習課題は全て提出のこと。</p>
教科書	
参考書	資料等のプリントを配布することもある。
備考	欠席した際は、次回授業までに常勤教員からプリント等を受け取り、放課後等を利用して学習すること。また欠席した分の小レポートならびに製図演習課題も提出すること。

科目名			担当者	
インテリアデザイン演習			増田 学身	常 勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・Ⅲ期	演 習	30 時間	必修 1 単位	無

授業の目的 と 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計業務の中でも特に、需要が高まってきている内装計画について実践的に学ぶ。 ・ 顧客獲得へ向けた企画力とプレゼンテーション力を身につける。
授業の概要 達成課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活環境や建築・デザインに関連するテーマを提起する。 ・ 設計提案を具現化するために図面や模型を制作し、プレゼンテーションを行う。
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
第 1 週	ガイダンス・テーマ設定に向けた準備 1(調査・分析)
第 2 週	テーマ設定に向けた準備 2(テーマ決定)
第 3 週	制作 1(コンセプト設定、アイディアスケッチ)
第 4 週	制作 2(アイディアスケッチ、エスキス模型制作)
第 5 週	制作 3(プレゼンボード制作)
第 6 週	制作 4(模型制作)
第 7 週	制作 5(中間発表、科内発表)
第 8 週	制作 6(仕上げ 製図・模型制作)
第 9 週	制作 6(仕上げ 製図・模型制作)
第 10 週	制作 7(まとめ 科内発表会)
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品(50% : アイディア・図面・模型等を総合的に採点する) ・ プレゼンテーション (50% : パワーポイント内容・発表を総合的に採点する)
教科書	
参考書	インテリアプレゼンテーション (宮後 浩著 学芸出版社)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマに関連した情報をプリント等にて配布する。 ・ 制作に必要な材料(用紙、ボード、接着剤)は支給する。 ・ 製図用具、模型製作道具(カッター、定規、カッターマット)は各自で用意する。 ・ 完成作品は学外展に出展する。

科目名			担当者	
ビジネス講座			永沼 和子	常 勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・Ⅲ期	講 義	30 時間	必修 2 単位	無

授業の目的 と 到達目標	<p>社会人に必要とされる基本的なビジネスマナーと一般常識について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その場に適した挨拶と言葉遣いについて理解し、実践できる。 ・ 執務の基本やビジネス文書等についての基本事項を説明できる。ビジネス文書については社外文書と社内文書の構成等の使い分けができる。また基本的文書を作成できる。 ・ 成人として十分な常識を身につけ、日常生活において実践できる。
授業の概要 達成 課題	<p>社会人に必要とされるビジネスマナーと一般常識について取り上げる。</p> <p>まず、コミュニケーションの必要性を説明する。この点において適切な挨拶と言葉遣いは最重要事項なので、演習を通して具体的方法等を解説する。</p> <p>次に企業人として必要となる基本的事項（心構え、ビジネス文書の書き方等）を説明する。</p> <p>後半部ではマナー一般として冠婚葬祭やフォーマルな場面での対応の仕方を説明し、まとめとする。</p>
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
第 1 週	ガイダンス／第一印象の効果／小レポート
第 2 週	コミュニケーションと言葉遣い／小レポート
第 3 週	自己分析と自己表現／小レポート
第 4 週	執務の基本／小レポート
第 5 週	ビジネス文書①／小レポート
第 6 週	ビジネス文書②／小レポート
第 7 週	接客の仕方／小レポート
第 8 週	マナー一般①（お付き合いのマナー）／小レポート
第 9 週	マナー一般②（冠婚葬祭のマナー）／小レポート
第 10 週	まとめ／確認テスト
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小レポート（50%） ・ テスト（50%） <p>※出席欠席に関わらず、原則として小レポートは全ての分を提出のこと。</p>
教科書	要点と演習 ビジネス能力検定 3 級ジョブパス（実教出版株式会社）
参考書	解説や演習問題のプリントを配布する。
備考	欠席した際は、次回授業までにプリント等を受け取り、放課後等を利用して学習すること。また欠席した分の小レポートも提出すること。

科目名			担当者	
E x c e l 演習			宇川 雅晴	非常勤
配当年次	授業形式	授業時間	単位	実務経験等
1年次・Ⅲ期	演習	30時間	必修 1単位	無

授業の目的と到達目標	表計算ソフトのエクセルを使用し基本操作、工事費内訳明細書、工事工程表の作成を修得できる。
授業の概要 達成課題	表計算ソフトのマクロソフトのエクセルを使用し建築積算等で実際に活用できる集計表を作成しながら、応用的な使い方を説明する。
【各回のテーマ・内容・授業方法】	
第 1 週	エクセルの基本操作
第 2 週	罫線から書式をつくる
第 3 週	数式の入力の仕方①
第 4 週	数式の入力の仕方②
第 5 週	グラフの作成、オートフィルタと条件の設定
第 6 週	見積書の作成①
第 7 週	見積書の作成②
第 8 週	工事費内訳明細書の作成①
第 9 週	工事費内訳明細書の作成②
第 10 週	工事工程表の作成
成績評価方法	・課題作品で評価する
教科書	『はじめてのExcel2013 ビジネス実用書』／秀和システム
参考書	授業中にプリントを配布する。
備考	パソコンの不具合については速やかに申し出ること。 操作方法に関して不明な点は質問すること。